

製品名: C3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87723**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000
分子量	Calculated MW:187 kDa; Observed MW:187 kDa

抗原情報

遺伝子名	C3
別名	ASP; C3a; C3b; AHUS5; ARMD9; CPAMD1; HEL-S-62p
遺伝子 ID	718
SwissProt ID	P01024
免疫原	ヒト C3 の合成ペプチド

背景

補体成分 C3 は、補体系の活性化において中心的な役割を果たします。その活性化は、古典的および代替的な補体活性化経路の両方に

必要です。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって α サブユニットと β サブユニットに分解され、成熟タンパク質を形成します。そして、成熟タンパク質はさらに分解されて、多数のペプチド産物を生成します。C3a ペプチドは C3a アナフィラトキシンとしても知られ、炎症を調節し、抗菌活性を有します。この遺伝子の変異は、ヒト患者における非典型溶血性尿毒症症候群および加齢黄斑変性症と関連しています。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]

研究分野

-

画像データ



C3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した T24 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。